

平成30年度 優良会員事業所表彰制度 受賞事業所が決まりました



受賞された4社の代表
(前列左から)三井機械店・森社長、(御)キスキ、来次社長、渡邊会頭、
(後列左から)三井機械店・河野社長、協和ボーリング(株)・佐藤社長

当所では、経営意欲を高め、地域経済の活性化を図ることを目的として、経営革新や地域貢献などを積極的に推進している会員事業所を顕彰する「優良会員事業所表彰制度」を平成17年度から実施しています。
制度スタートから10年の平成27年度に表彰基準を見直し、これまでに105事業所を表彰してきました。
3月27日、平成30年度の優良会員事業所表彰制度を授賞された4事業所をたたえる式典を開催しました。各社の取り組みとともにご紹介します。



優良会員事業所表彰制度 応募・推薦基準

経営革新賞

- ・製品(商品)製造において独自の技術・技能を持ち、他の模範と認められる事業所
- ・独自のサービス手法、商品の販売手法を持ち、他の模範と認められる事業所
- ・製品(商品)開発や業務改善において成果・実績が認められ、他の模範と認められる事業所
- ・既存事業からの転換、多角化によって新分野に進出し、他の模範と認められる事業所
- ・顧客満足度の向上に積極的に取り組み、他の模範と認められる事業所
- ・地域ブランドの企画、開発、販売、市場開拓などを行い、地域ブランドの向上に取り組んでいる事業所
- ・地域ブランドを活用して福島県のPR等を積極的にしている事業所

環境改善賞

- ・省資源、省エネルギー化に積極的に取り組んでいる事業所
- ・過剰包装削減、マイバッグ推進運動に積極的に取り組んでいる事業所
- ・3R(リデュース、リサイクル、リユース)に積極的に取り組んでいる事業所
- ・顧客、社員の環境問題への意識高揚に

積極的に取り組んでいる事業所

地域貢献賞

- ・福島市のまちづくりや活性化、交流人口の増加、風評被害の払拭等に貢献している事業所
- ・コミュニティ活動やボランティア活動等を通じ、地域活動に貢献している事業所
- ・子育て世代の女性の社会進出や女性の積極的な登用などに貢献している事業所
- ・高齢者、障がい者雇用を推進し、地域社会に貢献している事業所

経営革新賞

- (株)キスキ (御山)
- (資)河野テラー (桜木町)
- (有)三井機械店 (西中央)

地域貢献賞

- 協和ボーリング(株) (南矢野目)

栄えある受賞、誠にありがとうございます。

受賞を終えて

受賞式終了後、4社の代表と正副会頭、選考に当たった中小企業振興委員会・内池浩委員長(内池醸造(株)代表取締役会長)、佐藤允昭副委員長(山正酸素(株)代表取締役会長)が懇談しました。



内池委員長(写真右)は4社の受賞ポイントを紹介しました。「キスキさんの取り組みは事業拡大や街の活性化につながる好例です。河野テラーさんは新技術を開発し、競馬騎手の勝負服だけでなくグッズなど販路拡大につなげました。三井機械店さんは技術改良を重ねるに重ね、顧客と一緒に悩みを解決してきた挑戦の賜物です。協和ボーリングさんの働き方改革などの取り組みは他社の模範として敬意を表したいと思います。」



佐藤副委員長(写真左)も「福島県の活性化につながる企業を選出できて嬉しく思います」と4

社の受賞を祝福しました。



各社の代表からは現状の課題について説明がありました。経営革新賞を受賞した3社の代表者がそれぞれ指摘したのは販路拡大の重要性です。自社ホームページで動画を公開したり、既存の枠を超えた商取引に挑戦したり、展示会に積極的に出展し、海外まで販路を拡げるなど努力を重ねています。地域貢献賞を受賞した協和ボーリングの佐藤宗弘社長は「社員の協力だけでなく、取引先の理解も欠かせない」と指摘しました。本表彰制度は他薦によるエントリーとなっております。日ごろからお取引のある金融機関が推薦し、受賞に至った企業もあります。ぜひ、福島市内の素晴らしい企業をこれからも推薦してください。次ページから受賞4社のプロフィールをご紹介します。

建設業及び建設資材の販売業

新しい地域環境を拓く創造技術集団

TOKAI 東開クレテック株式会社

取締役会長 三浦康克

代表取締役 三浦康伸

本社/福島市北矢野目字成田小屋12 TEL(024)553-8111(代)
支店/福島・いわき・郡山・東北・原町・会津

冷暖房・空気調和・衛生・水道施設・設計施工

文化設備工業株式会社

代表取締役 先崎良博

本社/福島市野田町五丁目5-6

TEL024(535)0166

FAX024(531)1036

茨城支店/水戸市上水戸二丁目3-5

TEL029(221)2722

会津支店/会津若松市北青木4-18

TEL0242(26)8082

伊達営業所/伊達市保原町字赤橋90-3(サトウハイツ1号)

TEL024(576)7551

優良会員事業所表彰制度 受賞企業の横顔

地域貢献賞

福島市働く女性応援企業認定第1号

協和ボーリング 株式会社

南矢野目字中屋敷51-1 電話555-2600
佐藤宗弘 代表取締役社長 昭和52年創業
<http://www.b-kyowa.co.jp/>

【働き方改革はボトムアップで】

福島県内に地質調査などを専門とするボーリング業者は14社。同社は率先して働き方改革を推進しています。

「働く女性応援中小企業」(福島県)「福島市働く女性応援企業」(福島市)の認定第1号など女性社員が働きやすい環境づくりに取り組んできました。

授業参観日の際の特別休暇付与、子ども送迎のための時差出勤などの取り組みを導入しています。

「働き方改革はボトムアップで進めています」と佐藤宗弘社長。現在、同社には“イクメン”が2人いるそうです。

【工期と生産性向上の両立が課題】

専門技術サービス業は急な現場対応を求められることがしばしばあります。実際、工期の順守と生産性向上の両立は難しいそうです。

社員個人の週間予定の「見える化」や受発注の共同連携、発注側への理解を求めたりと業界全体としても働き方改革を進めています。

【地域を美しく】

定期的な主要道路の清掃や草刈り、空き缶やゴミ拾いを行い、清掃活動にも積極的に取り組んでいます。



経営革新賞

味へのこだわりを形にして70年

有限会社 三井機械店

西中央四丁目48 電話534-2872
森正和 代表取締役 昭和24年創業
<http://mitsuikikai.jp/>

【お客様と一緒に“美味しい”機械をつくる】

私たちが普段食べている麺を作る製麺機、餃子の皮など“粉もの”に欠かせない製粉機、お餅を作る機械などを製造しています。

素材の良さを活かすため、香りやうま味を逃さず良質な粉質の製品を造るなど製造現場を支える機械づくりの技術が高く評価されています。



【納期と要望に応えます】

8年前からは東京ビッグサイトでの展示会に出展するなど積極的な顧客開拓に努めています。「今年も福島から来たんだねって声を掛けてもらえるようになりました」と森正和社長。納期を守り、お客様の要望に応える姿勢を愚直に貫き、いまではオーストラリアなど海外からも注文が入るようになりました。



【米沢ラーメンの麺にも三井機械店】

東北中央自動車道で一層身近になった米沢の名物・米沢ラーメン。独特のちぢれた麺が特徴ですが、お店によってちぢれ具合もさまざま。そんな特色ある米沢ラーメンのちぢれ麺を支えるのが三井機械店製の製麺機です。米沢市内20ヶ所以上で活躍しています。

米沢ラーメンを食べに行ったら福島市の老舗メーカー・三井機械店を思い出してください。

経営革新賞

勝負服の伝統を絶やしたくない

合資会社 河野テラー

桜木町2-3 電話534-2245
河野正典 代表取締役 大正13年創業
<http://www.kouno-tera.com/>

【軽さを極めた競馬騎手の勝負服】

競馬騎手が着用する勝負服の仕立専門店是全国に2、3件。その伝統を絶やしたくないとの強い意志を原動力に、3年前からより軽量化した勝負服を発売しました。

従来は生地を重ね縫いで表現していた色柄を新たに開発した生産手法の「照射プリント」により重ね縫い無しで表現。グラム単位の軽量化を達成しました。



【「少しでも軽い服が欲しい】】

東日本大震災後、中央競馬だけでなく地方競馬からオーダーが入るようになりました。「騎手からも直接オーダーが入り、生の声を聴けるのが嬉しい」と河野正典社長は話します。少しでも軽い服を提供するため、照射プリント技術に磨きを掛けようと燃えています。



【ミニチュア勝負服はいかが？】

同社ではかわいいミニチュア勝負服を作成しています。店の看板がわりに飾ったり、個人のプレゼントなど用途はアイデア次第。実際に競馬で使用している生地、製法で作成しています。大きさはA4サイズ程度で料金は6,500円。勝負服のプレゼントなんてカッコいいですね!!



東北唯一 人工芝メンテナンス事業

株式会社 キスキ

御山字沢田8-5 電話563-3886
来次 馨 代表取締役 平成25年創業
<https://kisuki.site/>

【人工芝で思いっきりプレーしてほしい】

道路舗装・外構工事を手掛ける同社が、東北唯一となる人工芝工事・販売・メンテナンス事業に参入したきっかけは、来次馨社長のサッカー教室コーチとしての経験からでした。

「砂埃が舞うなど学校グラウンドは敬遠されがちです。加えて東北には積雪の問題があります。人工芝はメンテナンスの省力化・コスト減につながると自信を持ってお勧めします」と来次社長は話します。現在では、専用の人工芝管理機により秋田県を除く東北5県のサッカーグラウンド等のスポーツ施設を中心に約20ヶ所の施工実績があります。

【定期的なメンテナンスで長寿命】

人工芝は張って終わりと思ったら大間違い。定期的にメンテナンスすることで長寿命化が図られ、所有者の維持管理費節約効果はもちろん、廃棄物の削減にもつながります。

維持管理費に支出をためらっている企業にぜひ見てもらいたいと来次社長が話す動画が同社ホームページに公開されています。ぜひ、ご覧ください。

